

新庁舎建設特別委員会の概要（第15回）

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 令和2年7月1日（水） 9時00分～10時30分 |
| 2 場 所 | 第1議会委員会室 |
| 3 出 席 | 全委員 |
| 4 内 容 | 1 前平候補地について
2 駐車場について
3 まちのにぎわいについて（美濃太田駅南）
4 その他（補足：液状化について） |

配布資料

- ・液状化について

◇ 6月18日（木）に前平候補地である畜産研究所の視察を行った感想と、駐車場について及びまちのにぎわいについて（美濃太田駅南）を議論した。

【委員会で出た主な意見】

◆前平候補地の視察について

- ・新庁舎を建設するよりも、健康に特化した場所として活用したほうがよい。
- ・意外に狭く感じた。
- ・土地に段差があり、使い勝手が悪い。
- ・前平候補地での新庁舎建設と、まちのにぎわいがつながりを持って発展することは考えにくい。
- ・意外に広く感じた。
- ・「公園の中にある庁舎」というキャッチフレーズで、市民が集まるスペースとして期待できる。
- ・進入路、土地造成等の課題がたくさんあるが、それらをクリアすれば新庁舎を建設する場所として価値があると感じた。
- ・改めて市民の意見を聞いてみたい。
- ・まちづくり委員会の答申について精査すべき。

◆駐車場について

- ・車1台に対するスペース（幅）を十分確保して欲しい。立体駐車場も検討。

- ・駅前には駐車場が分散するため、民間との連携が重要であるが、中途半端に分散するのは望ましくない。
- ・利用者の動向や目的を理解して、最低限の数を確保する。
- ・各地域にある連絡所の機能を強化すれば、確保する台数が変わってくる。
→連絡所で手続きができる業務が増えれば、本庁舎に行く機会が少なくなる。
- ・民間も潤うような仕組みづくりが大切。
- ・市役所だけではなく、公共交通機関の利用者等も使用できるなど、さまざまな利用方法があるといい。
- ・まちづくりと連携したときに、駐車場の台数は足りるのか？
- ・市民、職員ともに駐車場は、広くて賃料が安い場所がいい。
→災害時に物資の置き場所などに活用できる。

◆まちなぎわいについて（美濃太田駅南）

- ・「買い物客がたくさん増えた＝まちがにぎわった」ではないという共通認識を持つことが必要である。
- ・地元の協議会と連携すべき。
- ・駅南の商店街は、後継ぎもなく空き家が多い。新庁舎が建設されたら、人が集まり空き家が少なくなるのでは。
- ・現在、駅前で時間を過ごす場所が少ない。（コンビニや喫茶店など）
- ・中山道とのつながりを大切に活用していく。
- ・駐車場の確保と公衆トイレの確保が必要。
- ・最近では若者による駅前での出展が増えている。
- ・美濃太田駅南の候補地と、まちづくり協議会のエリアを実際に現地確認する必要がある。

◆液状化について

- ・美濃加茂市防災マップの液状化発生の危険度を示す資料において、駅前周辺と前平候補地は液状化の可能性が「かなり低い」地域に指定されている。また、岐阜大学地震研究所の資料においても、同じく液状化の可能性は低い地域に指定されている。市商業ビルについても、基礎が固い地盤の上に作られていることから、駅前周辺の液状化の可能性は低く、総合的に駅前周辺及び前平候補地の液状化の可能性は低いという認識である。

【今後の進め方】

今回は、7月28日（火）午前9時から、「市商業ビル」について協議する。